昌子の広場 第255報 小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員
小林昌子
和泉市緑ヶ丘2-13-10
自宅Tel(Fax) 0725-54-2626
事務所Tel 0725-53-4451
Email　masakokob@yahoo.co.jp
http://masako-hiroba.info/
ブログ
http://blog.livedoor.jp/masako_hiroba/

目 次

・令和4年度決算を認定　P1,4
・府内市町村なんでもランキング　P2-3

令和4年度決算を認定
府内市町村なんでもランキング

令和４年度決算を認定

●決算の概要

和泉市の財政規模は大凡650億円ですが、コロナにより一気に200億円以上拡大しました。現在コロナの落ち着きに伴い財政規模も縮小し約730億円の規模となっており、正常化の過程と言えます。
実質収支は前年から大幅に悪化していますが、前年コロナ対策で大幅に改善した一時的なもので従前のレベルに戻っただけです。財政の硬直化を示す経常収支比率は殆ど変化がありませんが依然高い値を示しており、財政の硬直化は続いています。
決算審査意見書では「今後は市税収入の伸びは見込めず高齢化を背景とした社会保障費の増加、公共施設の更新費用の増加が想定され、和泉創生プランに基づき、様々な課題に対応するまちづくりや公共施設マネジメントの取組を着実に実施し、今後も健全財政の維持に務められたい」と言ってます。

●収支の状況について（一般会計）

一般会計の収支をあらわしたのが下表です。単年度収支が赤字となっています。

（単位百万円）

	R4年度	R3年度	R2年度
歳入総額(A)	73,485	76,179	87,462
歳出総額(B)	73,012	75,426	87,019
形式収支(C) (A)-(B)	472	753	443
翌年度に繰り越すべき財源(D)	133	107	159
実質収支(E) (C)-(D)	338	646	284
単年度収支(F)	-307	362	244

お詫びして訂正します。前月 254 報の 4 頁自主財源比率の最下位のつるが市はつがる市の誤りです。

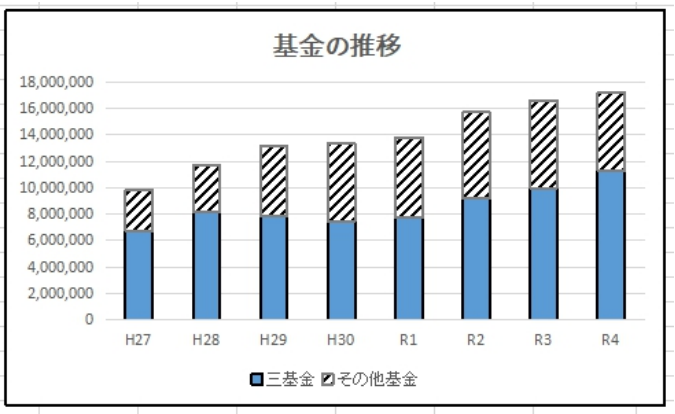
●一般会計を月 30 万円の家計に例えたら

歳入			家計に例えたら		
項目	金額(千円)	割合	項目	金額(千円)	割合
市税	24,458,124	33.3	給与収入	107.7	35.9
使用料・手数料・分担金・負担金・諸収入	1,933,943	2.6			
寄付金・財産収入	1,928,272	2.6	その他の収入	7.9	2.6
繰入金	1,466,959	2.0	貯金の取り崩し	6.0	2.0
繰越金	753,470	1.0	前月繰り越し	3.1	1.0
地方交付税	9,421,767	12.8	親からの仕送り	161.8	53.9
地方譲与税・各種交付金・国庫支出金	30,212,629	41.1			
地方債	3,310,100	4.5	借金	13.5	4.5
歳入計	73,485,264	100.0	家計計	300.0	100.0

一般会計を月30万円の家計に例えたものが上表です。主な自前の財源である給与の比率は 30%強で、多くを仕送りに頼る脆弱な会計です。（但しコロナ対策の給付金が仕送りに含まれるため、通常の年に比べ仕送りは大きくなっています）

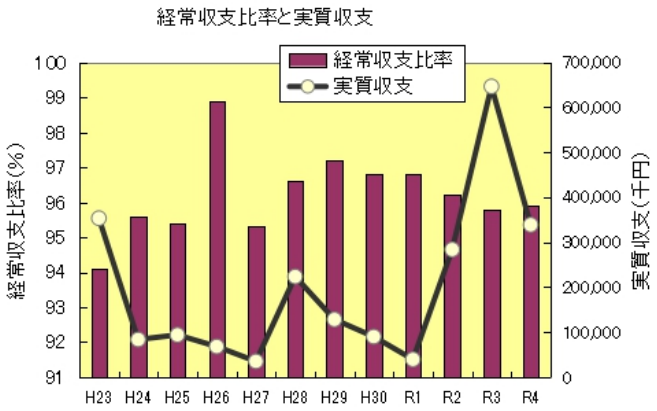
●基金の状況

貯金にあたる基金の状況は下記の通りです。
改善が続いています。



●経常収支比率と実質収支

財政の弾力性を示す経常収支比率を下図にしめします。前年度を0.1%悪化、望ましいとされる90%を大幅に上回っており、財政の硬直化は依然続いています。



●税金がなにに使われているか？

市の収入には、毎年決まって入ってくる経常的収入と、そうでない臨時的な収入とがあります。特に使い道の決められていない経常的収入は「経常一般財源」といい、財政の自由度を見るうえで重要となります。この経常一般財源がなにに使われているかを示したものが下図です。市債の償還や金利支払いに充てられる公債費が20%弱もあり借金の返済が重くのしかかります。

	充当額(千円)	比率(%)
人件費	9,188,631	25.3%
扶助費	6,448,279	17.8%
公債費	6,798,100	18.7%
物件費	5,690,942	15.7%
維持補修費	307,596	0.8%
補助費等	3,183,198	8.8%
繰出金	4,696,823	12.9%
合計	36,313,569	100.0%

●主要財政指標の推移

主要財政指標の推移は下表の通りです。

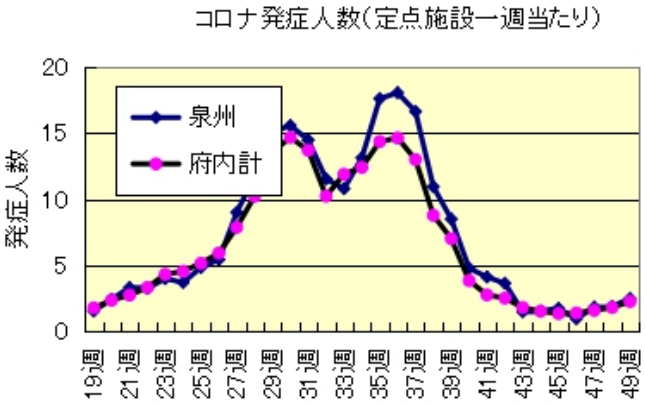
年度	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率	将来負担比率	ラスパイレス指数
20	0.73	100.1	7.1	79.5	101.1
21	0.73	98.1	6.4	70.9	99.4
22	0.72	96.1	5.7	68.2	99.6
23	0.70	94.1	4.8	41.8	100.0
24	0.69	95.8	4.7	28.1	106.3
25	0.68	95.4	5.1	20.7	106.5
26	0.69	98.9	6.1	14.8	97.9
27	0.70	95.3	6.7	−	99.5
28	0.72	96.6	6.5	−	97.7
29	0.74	97.2	6.6	−	97.4
30	0.75	96.8	6.3	−	98.4
R1	0.75	96.8	6.6	−	98.0
R2	0.75	96.2	7.1	−	98.1
R3	0.73	95.8	7.0	−	97.7
R4	0.72	95.9	6.9	−	97.4

●財源構成について

区分		収入(千円)		増減	構成比(%)	
		R4年度	R3年度		R4年度	R3年度
自主財源		30,540,768	28,424,233	2,116,535	41.6%	37.0%
	市税	24,458,124	23,795,183	662,941	33.3%	31.0%
	その他	6,082,644	4,629,050	1,453,594	8.3%	6.0%
依存財源		42,944,496	48,340,689	−5,396,193	58.4%	63.0%
	地方消費税交付金	4,111,676	3,950,940	160,736	5.6%	5.1%
	地方交付税	9,421,767	9,236,803	184,964	12.8%	12.0%
	国庫支出金	19,002,359	21,664,700	−2,662,341	25.9%	28.2%
	府支出金	5,458,637	5,271,639	186,998	7.4%	6.9%
	市債	3,310,100	6,422,200	−3,112,100	4.5%	8.4%
	その他	1,639,957	1,794,407	−154,450	2.2%	2.3%
合計		73,485,264	76,764,922	−3,279,658	100.0%	100.0%

自主財源とは地方自治体が自らの権限に基づいて自主的に徴収できる財源で、中央政府や都道府県自治体を経由する財源のうち、地方自治体の裁量が制限されている財源を依存財源とよびます。また、地方自治体の収入に占める自主財源の割合を自主財源比率とよび、自主財源比率の高低は、地方自治体の行政活動の自由度や安定度を図る尺度です。令和4年度の依存財源が大きく変化しています。これはコロナ対策の減少で国庫支出金が大幅に減少した結果です。コロナ対策でいかに多くの財源を必要としているのかがわかります。又庁舎の整備が完了したことで、庁舎整備事業債が減少しその結果市債の発行も大幅に減少しました。

コロナ再び増勢か



コロナ新規感染者数が一貫して減少し、収束の期待を抱かせましたが、12月に入り増加の傾向にあり心配です。行動制限はこりごりです。

昌子の日記＆予定

12/1 都市環境委員会　12/2 万葉講座
12/3 石尾っ子まつり　12/4 総務企画委員会傍聴
12/4 総務企画委員会傍聴　12/6 議運傍聴
12/12-13 本会議（一般質問）
12/14 和泉中央駅会報配布　12/15 議員研修
12/18 広報広聴委員会傍聴
12/19 介護保険運営協議会傍聴、槙尾川を考える会
12/20 和泉府中駅会報配布、都市計画審議会

昌子の広場第255報　　令和6年1月発行

市町村なんでもランキング

令和３年度決算　　（大阪府市町村なんでもランキングより）

各指標の経年変化と同一団体（＊）との比較を下図に示します。

経常収支比率

順位	団体名	経常収支比率	R2年度順位
1	田尻町	70.1%	1
2	千早赤阪村	80.3%	3
3	豊中市	84.9%	4
4	河南町	86.0%	5
5	富田林市	86.6%	8
6	寝屋川市	86.8%	2
7	茨木市	88.6%	13
8	太子町	88.8%	33
9	熊取町	88.9%	9
10	貝塚市	89.5%	11
11	高槻市	89.9%	6
11	交野市	89.9%	7
13	島本町	90.2%	37
14	豊能町	90.5%	35
15	摂津市	90.6%	21
16	高石市	90.8%	22
17	泉大津市	91.0%	12
18	柏原市	91.4%	14
19	箕面市	91.5%	10
20	枚方市	92.3%	20
20	能勢町	92.3%	25
22	岸和田市	92.4%	30
23	河内長野市	92.5%	31
24	羽曳野市	92.7%	27
25	泉南市	92.8%	25
26	池田市	93.0%	15
27	東大阪市	93.1%	24
28	大阪狭山市	93.6%	28
29	吹田市	93.9%	17
30	藤井寺市	94.1%	28
31	阪南市	94.2%	19
32	松原市	94.3%	36
33	守口市	94.6%	34
34	岬町	94.7%	16
35	四條畷市	94.8%	18
36	忠岡町	95.5%	40
37	和泉市	95.8%	23
38	八尾市	96.6%	38
39	門真市	96.8%	39
40	大東市	98.9%	32
41	泉佐野市	99.5%	41
全国最悪	夕張市	118.9%	北海道
全国最良	新居浜市	75.2%	愛媛

実質公債費比率

順位	団体名	実質公債費比率	R2年度順位
1	茨木市	-1.7%	1
2	摂津市	-1.3%	4
3	吹田市	-1.2%	2
4	富田林市	-1.1%	3
5	寝屋川市	-0.9%	7
6	高槻市	-0.8%	5
7	枚方市	0.0%	5
8	池田市	1.1%	14
9	藤井寺市	1.9%	8
10	河内長野市	2.1%	11
11	熊取町	2.3%	15
12	箕面市	2.7%	9
13	豊中市	2.8%	12
14	大阪狭山市	3.0%	10
15	柏原市	3.3%	12
16	羽曳野市	3.6%	18
17	八尾市	3.7%	16
17	門真市	3.7%	17
19	松原市	3.9%	22
20	田尻町	4.0%	20
21	貝塚市	4.7%	21
22	四條畷市	5.5%	23
22	太子町	5.5%	25
24	豊能町	5.6%	27
25	島本町	5.7%	19
26	岸和田市	6.0%	31
26	河南町	6.0%	24
28	大東市	6.5%	25
28	東大阪市	6.5%	27
30	守口市	6.7%	29
31	和泉市	7.0%	29
31	忠岡町	7.0%	34
33	阪南市	7.4%	32
34	千早赤阪村	8.1%	33
35	泉大津市	8.5%	35
36	交野市	8.9%	36
37	泉南市	9.6%	37
38	泉佐野市	9.9%	39
39	岬町	10.5%	38
40	高石市	13.1%	40
41	能勢町	15.1%	41
全国最悪	夕張市	68.3%	北海道

将来負担比率

順位	団体名	将来負担比率	R2年度順位
1	貝塚市	10.0%	7
2	箕面市	13.3%	2
3	泉大津市	14.2%	8
3	柏原市	14.2%	4
5	門真市	15.2%	9
6	松原市	24.0%	12
7	守口市	28.5%	10
8	忠岡町	42.7%	11
9	泉佐野市	42.8%	16
10	阪南市	43.7%	13
11	藤井寺市	54.9%	15
12	交野市	55.5%	14
13	泉南市	64.4%	17
14	岬町	100.9%	18
15	高石市	107.2%	19
16	能勢町	108.0%	20
－	岸和田市	－	5
－	豊中市	－	－
－	池田市	－	－
－	吹田市	－	－
－	高槻市	－	－
－	枚方市	－	－
－	茨木市	－	－
－	八尾市	－	1
－	富田林市	－	－
－	寝屋川市	－	－
－	河内長野市	－	－
－	大東市	－	－
－	和泉市	－	－
－	羽曳野市	－	3
－	摂津市	－	－
－	東大阪市	－	－
－	四條畷市	－	－
－	大阪狭山市	－	－
－	島本町	－	－
－	豊能町	－	－
－	熊取町	－	－
－	田尻町	－	－
－	太子町	－	－
－	河南町	－	6
－	千早赤阪村	－	－
全国最悪	夕張市	274.0%	北海道

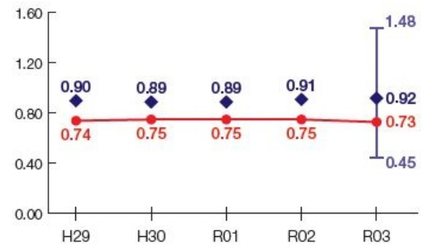
※将来負担比率については算定された

財政力指数

順位	団体名	財政力指数	R2年度順位
1	田尻町	1.432	1
2	吹田市	0.973	2
3	摂津市	0.971	2
4	茨木市	0.962	4
5	泉佐野市	0.931	5
6	箕面市	0.926	5
7	豊中市	0.889	7
8	池田市	0.854	8
9	高石市	0.810	9
10	高槻市	0.794	10
11	枚方市	0.782	11
12	東大阪市	0.752	13
13	島本町	0.743	12
14	大東市	0.733	14
15	和泉市	0.731	15
16	八尾市	0.724	16
17	泉大津市	0.717	17
18	守口市	0.716	19
19	泉南市	0.709	18
20	交野市	0.692	20
21	門真市	0.688	22
22	大阪狭山市	0.681	21
23	貝塚市	0.659	23
24	寝屋川市	0.642	24
25	富田林市	0.631	25
26	藤井寺市	0.616	27
27	岸和田市	0.615	28
28	柏原市	0.610	29
29	河内長野市	0.608	26
30	四條畷市	0.600	30
31	松原市	0.589	31
32	熊取町	0.577	32
33	羽曳野市	0.561	34
34	忠岡町	0.558	33
35	阪南市	0.524	35
36	太子町	0.492	36
37	岬　町	0.488	36
38	豊能町	0.436	38
38	河南町	0.436	39
40	能勢町	0.372	40
41	千早赤阪村	0.276	41
全国最悪	対馬市	0.190	長崎
全国最良	武蔵野市	1.480	東京

財政力指数 [0.73]　類似団体内順位 31/36

財源の余裕の度合いを示す指標

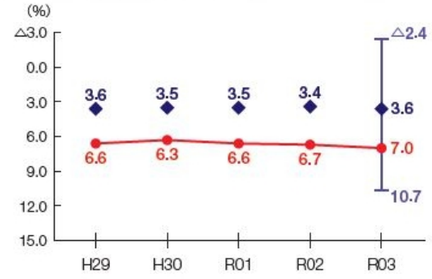


経常収支比率 [95.8%]　類似団体内順位 35/36

財政構造の硬直化の度合いを示す指標

実質公債費比率 [7.0%]　類似団体内順位 31/36

地方債の償還額等の大きさの度合いを示す指標



※　経常収支比率：財政構造の弾力性をみる指標
※　実質公債費比率：一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率
※　将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
※　実質公債費比率の早期健全化基準は25%、財政再生基準は35%。将来負担比率の早期健全化基準は350%
※　将来負担比率が算定されない場合は、「-」と表示
※　財政力指数：財政力をあらわす指標。「基準財政収入額÷基準財政需要額」の過去3年間の平均値